

わが日本未来の党は、国民にとって遠くなってしまった国政を身近なもの、自分たちの意見が反映できるよう、地方から立ち上がった政党であり、常に地方・住民の視点で政策を推進していく方針です。

1 社会情勢の変化や公共のあり方をふまえた、国と地方の構造的な改革が必要です。国の出先機関は権限移譲とともに広域連合に移管し、効率化を図り、地方分権をすすめます。しかし、道州制はそれぞれ地域の独自性、文化を消してしまいます。導入については慎重に考えなければなりません。

2 道州制は、東京一極集中がいくつかの極に分裂するだけで、ブロックごとの集中はより加速してしまいます。超高齢化、人口減少する我が国において、地域間の偏在性を高めるための政策はあってはならないと考えます。

3 道州制の導入には反対であるため、具体的な検討手続きの案はありません。内政の大部分は、地方に関連するものであるため、法制化された協議の場を活用し、対等の立場で国と地方のあり方について、抜本的な政策を検討すべきであると考えております。